

児童発達支援 わくわくステップ 支援プログラム



児童発達支援
わくわくステップ

①

健康・生活

②

運動・感覚

③

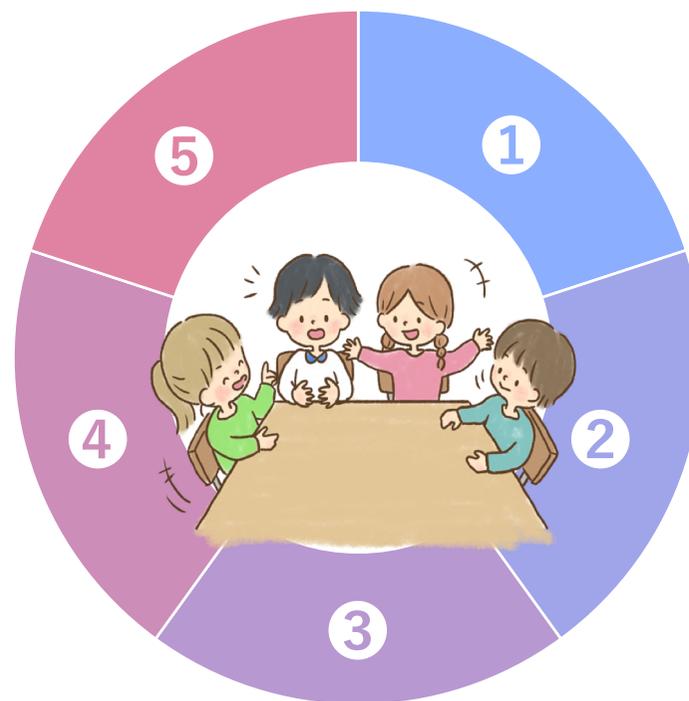
認知・行動

④

言語・コミュニケーション

⑤

人間関係・社会性



① 健康・生活

ねらい

1. 健康状態の維持・改善
2. 生活リズムや生活習慣形成
3. 生活スキルの獲得



- 利用時に健康観察を行い、体調不良がないかの把握をご家族と一緒にいたします。
- 意思表示が不十分な子どもの小さなサインを見逃さず体調不良に気づけるよう、きめ細かな観察を行います。そして、健康な体と心を維持し安全な生活を営めるよう支援します。
- 活動の中でサーキットや運動を取り入れ、運動能力の向上、体作りを目指します。
- 朝の支度、着脱、排泄等に必要な基本的技能の獲得を目指します。
- 楽しく食事ができるよう、咀嚼・嚥下・姿勢保持・自助具等に関する支援を行います。
- 使った物の片付けの習慣をつけていきます。
- 集中して取り組めるよう環境調整を行います。
- 視覚化するなど1人1人に合わせたわかりやすい構造化をします。



② 運動・感覚

ねらい

1. 姿勢と運動・動作の向上
2. 姿勢と運動・動作の補助的手段の活用
3. 保有する感覚の総合的な活用



- 日常生活に必要な動作の基本となる運動や動作をサーキット等の活動に取り入れます。
- 活動の中で椅子や机を用い、正しい姿勢の習得をします。
- 必要な各種補助機器を安全に効果的に使用・活用できるように必要時専門機関と連携します。
- 身体に入ってくるさまざまな感覚を正しく取り入れることを目的に、五感を十分に活用できる遊具や道具を使った遊びをします。また、タイミングやバランスの感覚、体の動かし方や力加減、方向感覚の習得ができる遊びをします。
- 感覚を正しく取り入れられるようにし、その場その時に応じた感覚の調整や注意の向け方、自分の身体を把握する、道具を使いこなす、人とのコミュニケーションをとるといったような周囲の状況とそれを踏まえた行動ができるようにします。

③ 認知・行動

ねらい

1. 認知の発達と行動の習得
2. 空間・時間・数等の概念の形成
3. 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得



- 見通しを持って安全に適切に行動できるよう、絵カードやスケジュール表を用いて情報を整理します。そして、その情報の中から必要なメッセージを選択し、行動に繋げるといふ認知過程の発達を支援します。
- 物の機能や属性、数量、大小、色、空間や時間などの概念を形成する活動を取り入れ、行動の手がかりとして活用できるようにします。
- 認知の偏りに配慮し、こだわりや偏食に対する支援をします。興味・関心をひろげるとともに、感覚や認知の偏りから生じる行動障害を予防します。

④ 言語・コミュニケーション

ねらい

1. 言語の形成と活用
2. 言語の受容及び表出
3. コミュニケーションの基礎的能力の向上
4. コミュニケーション手段の選択と活用



- 物や体験と言葉の意味を結び付け、言語の習得を促します。
- 朝会や活動の中で、注意をむけるやりとりを取り入れます。相手の意図を汲み取り、自分の意見を伝える経験を増やしていきます。
- 言語以外にも、指さしや身振り、サインなどを活用し、状況を理解し気持ちが伝えられるように支援します。文字や記号、絵カード等、1人1人に合ったツールを探し支援します。
- グループ活動や遊びの中で、協力遊びや関わり遊びを取り入れ、仲間意識、協力意識をもてるようにします。

⑤ 人間関係・社会性

ねらい

1. 他者との関わりの形成
2. 自己理解と行動の調整
3. 仲間づくりと集団への参加



- 他者との関係作りの基盤として、スタッフがお子さんとの信頼関係を構築することから始めます。
- 模倣に始まり、見立て遊びやごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援します。一人遊びから、大人が介入しての遊びに発展させ、役割分担やルールを守って遊ぶことを学び、お友達との関係も意識できるようにします。
- 個別活動、集団活動を通して、順番を守る、ルールを守る、待つ等の参加方法の習得をします。
- 徐々に自分のできることとできないこと、自分の行動の特徴に気づき、折り合いがつけられるように支援します。相手の気持ちや状況などを理解できるようになり、安心して集団へ参加できるようにします。

移行支援

ねらい

1. 保育所等への配慮された移行支援
2. 移行先の保育所等との連携
3. 同年代の子どもとの仲間作り

- 将来的な移行を見据えた支援目標をお子さん、ご家族と一緒に設定し、それに合わせた内容で支援します。
- 安心して保育園、幼稚園への移行や就学ができるよう、支援内容を共有したり、ご家族の相談援助を行います。
- 併行利用先（保育園、幼稚園）との情報共有、支援内容のすり合わせをしながらお子さんの保育園、幼稚園での生活の充実、仲間づくりができるようにします。



家族支援

ねらい

1. 家族からの相談に対する適切な助言
アタッチメント形成等への支援
2. 家庭の子育て環境の整備
3. 関係者・関係機関との連携による支援

- 親子で一緒に活動を行うことで、お子さんの理解を深めてもらい、ご家庭でも同じ対応ができるようにします。活動の後に振り返りの時間を設け、子育てに関する困りごとへの相談援助を行い、安心して子育てができるようにします。
- 子供の発達状況や特性の理解に向けた相談援助、講演会、研修会、保護者同士の交流会の提供をします。
- 子育てに不安の強い保護者の方には、必要に応じて心理士等専門機関と連携します。



地域支援・地域連携

ねらい

1. 地域における連携の一端としての役割
2. 地域の子育て環境の構築
3. 地域の支援体制の構築

- 保育園、幼稚園との連携や調整、支援方法や環境調整の相談援助を行います。
- 市町村関係者、医療機関、児童相談所、相談支援事業所、他事業所等との生活支援や発達支援の連携を図ります。
- 児童発達支援等に対する理解促進のため、地域集会等へ参加するとともに、地域交流の機会が提供できるよう、具体的な方法を市町村関係者と検討します。

